

## 令和5年門真市教育委員会第1回定例会

開催日時 令和5年1月27日（金） 午後2時

開催場所 本館2階 大会議室

### 議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 第四中学校区義務教育学校の学校種に対する名称について

日程第4 報告案件 門真市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項第1号に係る報告

日程第5 諸報告

### 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第5まで

### 出席委員

教育長	久木元 秀平
教育長職務代理者	土川 好子
委員	高橋 元
委員	松宮 新吾
委員	澤田 京子

### 事務局出席職員

教育部長	鈴木 貴雄
教育部次長	大倉 善充
教育部教育総務課長	十河 大輔
教育部教育企画課長	渡辺 廣大
教育部学校教育課長	高山 拓也
市民文化部生涯学習課長 兼門真市立図書館参事	清水 順子

久木元教育長 開会宣告 午後2時

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 久木元教育長より 松宮 新吾 委員を指名
- 日程第 2 会期の決定
- 本日 1 日と決定
- 日程第 3 議案第 1 号 第四中学校区義務教育学校の学校種に対する名称について
- 説明者 渡辺教育企画課長

議案書 1 ページをご覧ください。

本件につきましては、門真市立第四中学校区において、令和 8 年 4 月に新たに設置する義務教育学校の校名について、学校種に対する名称を決定するため、議案として提出したものでございます。

それでは、別冊の資料をご覧ください。令和 5 年門真市教育委員会第 1 回定例会、議案第 1 号資料をご覧ください。

開いていただきまして 2 ページをご覧ください。

まず、校名の選定の流れについて改めてご説明いたします。校名については、令和 4 年 6 月 23 日開催の第四中学校区新しい学校設立準備会において、校名の選定方法や選定基準について議論を行い、この議論に基づき、校名を広く市民に公募し、選定基準やアンケートを経て、最終的に児童生徒の意見を尊重する形で決定していくことといたしました。

この選定の流れを時系列の表にしたものが、お手元の資料となっており、この流れに基づき、具体的な選定を進めてまいりました。

具体的には、令和 4 年 9 月 1 日から 9 月 30 日まで校名を市民より公募し、11 月の設立準備会において選定基準等に沿って 18 案に絞り込みを行いました。

次に、12 月 1 日から 12 月 27 日まで、18 案に対する市民アンケー

トを実施し、その結果を踏まえて、令和5年1月実施の準備会にて、児童生徒に提示する最終候補案として2案に絞り込んだところでございます。

なお、これまでの選定の各ステップにおきましては、校名のうち、愛称となる前半部分について議論を進めておりましたが、後半部分の名称、すなわち正式名称として「〇〇義務教育学校」と呼ぶのかどうかというところにつきましては、決定せずに議論を進めてきたところです。

最終ステップとして、児童生徒へ2案の候補を比較して投票していただくにあたり、校名全体の印象や、音の響きなど、後半部分の名称も含めて提示したいと考えておりました。今回、義務教育学校の校名の名称部分についての決定をお願いしたいと考えているところでございます。

次に3ページをご覧ください。こちらに記載の内容が、前半部分・愛称となる最終2候補となっております。

次に4ページをご覧ください。

こちらには、近隣他市における義務教育学校等の校名について、一覧を示しております。

資料の例でいきますと、「〇〇学園」「〇〇義務教育学校」「義務教育学校〇〇学園」「小中学校」などが、近隣に現存する校名となっており、必ずしも全ての義務教育学校の名称が同じではないという状況でございます。

本市での名称をどう考えるかというところでございますが、まず、本市で初めてとなる新しい校種ということで、従来の小学校とも中学校とも違う新しい学校という観点がございます。

また、こうした新しい形態の校名について、今回、初めて決定する機会でもあり、今後市域全体で学校のあり方を模索していく中で、学校の形態としては、これから様々な形の連携が可能性として残っております。こうしたことにも柔軟に対応できる名称として汎用性が高く、府内でも多く採用されております「学園」が適当ではないかと考えているところであります。

久木元教育長： それでは、ただいま説明がありましたように、愛称以下の部分でございますけれども、これについてご意見をうかがいたいと思います。いかがでしょうか。

松宮委員： 本日の資料の最後のところにも、他の市町村、都道府県、国の呼称・名称が載っていますけれども、「義務教育学校」これは、前に付けても後ろに付けても行政用語であって、これを学校名に載せるっていうのは、非常に違和感があります。

もう一つは、小中学校という名称がありますけれども、学びの共同体1年生から9年生までというかたちで、新たな一つの学び共同体ということにおいて、あえてこれを小・中というかたちにしてしまうのも、なんとなく違和感があります。ですからストレートに、この3ページで提案されている2つの選択肢がありますが、これに学園または学校としたほうが良いのかなと。今回の例示された中では、学園ですか。というあたりで、学校とは違った新しくスタートさせるという点では相応しいのかなという印象を受けます。

久木元教育長： はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。

澤田委員： 結果として、私も学園のほうがいいなとは思っているんです。小中学校というのは、やはり今回新しい学校ということで、小学校の区別なく段階において教育をということで、一つの学園を作り上げていくという趣旨からすると、学園というふうのかたちの名前が相応しいのかなと、小中学校あるいは義務教育学校というよりは、こちらのほうが相応しいかなという印象です。

久木元教育長： はい、ありがとうございます。他にご意見はございますか。

土川教育長職務代理者： 学校の名前ですけれども、例えば小学校といたら、だいたいどういう感じか、1年生から6年生までいてということがわかりますし、中学校というのはさらにその上のという学校自体の形態を表していると思います。この度、新しい学校の形態になる訳ですけれども、その面で義務教育学校という感じにすると、今後はやはり、4年、3年、2年制であるとか、色んな面で変わってくるので、あまり義務教育学校というものがよくわかられていないと思うので、違う形でやるんだよということを表すためには、そういうことも義務教育学校というあり方もあるのかなというふうに感じています。

久木元教育長： はい、ありがとうございます。他にご意見はございますか。

高橋委員： この3つの候補の中で、義務教育学校とか小中学校というような名称は、まさにこの学校の特色をそのまま表現した名称にはなるとは思うんですけども、名称としては実際あまり、馴染みがないような感じで、通学する生徒さん達が親しみを感じれるような名称を選ぶとすれば、僕の中では、学園というのが一番いいのではないかというふうに個人的には考えます。

久木元教育長： はい、ありがとうございます。

学園というご意見が多かった中で、土川委員が義務教育学校ということでございますけれども、「学園」というのが多いと思うのですが、いかがなものでしょうか。

土川教育長職務代理者： それで結構です、はい。

久木元教育長： よろしいですか。はい、わかりました。

それでは、様々なご意見をいただきましたけれども、義務教育学校の学校種に対する名称につきましては「学園」とすることにご異議ございませんか。

[異議なし]

久木元教育長： よって、議案第1号「第四中学校区義務教育学校の学校種に対する名称について」は、「学園」と決定いたしました。

[全委員異議なく、可決]

#### 日程第4

報告案件 門真市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条  
第1項第1号に係る報告

久木元教育長より、本件は、個人情報にかかわる部分が含まれ、秘匿にする必要がありますので、非公開にて審議したいとのこと、各委員に諮ったところ、全委員異議なく、了承、非公開にて審議された。

[議事録 省略]

[報告案件終了]

時間 午後 2 時11分から午後 2 時13分まで

## 日程第 5

### 諸報告

番号 1 「令和 5 年門真市二十歳のつどい」の結果について  
説明者 清水生涯学習課長

諸報告資料 1 ページをご覧ください。

1 月 9 日にルミエールホールの大ホールで開催いたしました二十歳のつどいの参加者数につきましては、735人であり、対象者 1,170人のうち、62.8%の方が出席されました。

第 1 部は、市長からの式辞、市議会議員、府議会議員からの祝辞をいただき、二十歳のつどい実行委員会のメンバーが「門出の言葉」を読み上げて、式典を締めくくりました。

第 2 部の企画運営に関しましては、門真市二十歳のつどい実行委員会のメンバーとともに、ポスターの作成、協賛金の募集、恩師のお祝いメッセージの募集とホワイエ内へ掲出いたしました。

また、協賛金を活用して、参加者へ記念品としてペンを配布するとともに、元プロ野球選手の鳥谷敬氏を招いてトークが繰り広げられました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策としましては、来賓や登壇者数を縮小し、ソーシャルディスタンスを確保するため、警備員による屋内外の誘導順路の設置、及び規制退場を行い、入退場口では手指の消毒とマスク着用の確認を行いました。

式典プログラムのダウンロードを促すため、リンク先のQRコードを各座席に貼り付けておき、開始前に館内の消毒を行いました。

本式典の趣旨に賛同し協賛金をいただきました12の企業、団体に対するお礼を式典中に伝えるとともに、承諾を得られた「協賛企業、団体一覧表」をホワイエ内に設置した協賛ブースとともに、

電子式典プログラムに掲載しました。

—すべての報告が終了—

久木元教育長          閉会宣言          午後 2 時17分

門真市教育委員会会議規則第24条の規定により署名する。

門真市教育委員会

教 育 長          久木元 秀平

署名委員          松宮 新吾